

社会に開かれた大学

Contributes to Society

地域社会に貢献する 大学を目指して

本学では、開学以来、「大阪市民」の大学として、地域社会の発展に寄与し続けてきました。生涯教育の必要性や学習機会の多様化が叫ばれるなか、地域社会貢献の一端として、わかりやすく誰でも参加できる様々な講座や社会人受け入れ制度を設置して、「社会に開かれた大学」をめざしています。

文化交流センター講座

本学創立百周年記念事業の二環として、学術研究の成果を社会に還元することを目的に、大阪駅前第2ビルに開設している講座です。講師は、本学の教員や卒業生が中心で、2001年度は129回開催し、延べ8,901人が受講しました。

女性の夏期大学講座

1961年以来毎年、女性の文化教養の向上と専門的研究の普及・白帯化を目的として、(財)大阪都市協会との共催で開催している女性を対象とした講座です。2001年度は、8月から9月にかけて6日間開催しました。

市民講座

1972年以来毎年、総合大学の特性を生かした統一テーマを設定し、各学部等から選出された講師陣がそれぞれ研究分野で講義を行っています。2001年度は、11月から12月に、ITで暮らしは変わるというテーマで7日間開催しました。

市民医学講座

病気と医療について分かりやすく解説し、市民に対して

病気の治療と予防の知識を深めることを目的に、主として医学部、看護短期大学部教員が担当する講座です。2001年度は10回開催し、延べ1,562人が参加しました。

公開授業

市民の多様な学習意欲に応えるために、本学の提供する授業の一部を公開しています。

科目等履修生制度

学習機会を広く一般に開放するために、学部と大学院の開講科目のうち、特定の科目について履修を認める制度です。試験を受けて合格すれば、大学の正規の習得単位として認められます。

研修生制度

専門的な研究および知識の向上をめざし、公的機関から研修生の派遣を受け入れています。

大学院研修生制度

個人がその職業についての知識や技術の向上・進歩のため、特定の研究課題について、教員の指導のもとに1年間研究できます。

Web-Based Teachingの実践 インターネット講座

本学の新しい試みであるインターネット講座は、実際に大学で行われている講義に近いハイレベルの内容をホームページ上に掲載し授業を行うバーチャル大学です。2002年度は11講座を開講しました。受講生はメールリストを介して講師やクラスメートと交流を持つことができます。受講生の年齢は高校生から70歳代の方まで幅広く分布し、日本全国はもとより海外に居住している日本人の方も参加されています。講師の課題に対しレポートを提出された方には、

学長名の修了証が授与されます。



アドレスは

<http://koho.osaka-cu.ac.jp/vuniv2002/>



国際都市OSAKAの市立大学

「世界に開かれた交流のまち」をめざす大阪。その学術・文化の中枢を担う大阪市立大学は、多様な国際交流システムの構築に努めています。

本学は現在、世界の18の国と1地域から262人余りの留学生を受け入れており、施設見学や合宿研修を実施して日本の文化・歴史への理解を深めてもらうとともに、学生相互間の親睦も図っています。また大阪市の姉妹・友好都市提携の環として、ドイツ・ハンブルク大学など、海外5都市の大学との協定による教員・学生の相互交流をはじめ、海外の大学等の研究機関と協定を結び、学術交流を実施しています。とくにアジアについては、21世紀における相互理解の増進と発展をめざし、本学の若手研究者と現地研究者との共同研究を助成するアジア・日本研究プロジェクト事業を創設しています。この他、外国で優れた研究業績を有する研究者を招へいし、本学の研究者との共同研究プロジェクトを実施するとともに、世界が直面する様々な問題について国際的に活躍する内外の研究者による国際学術シンポジウムを開催するなど、世界に向けた新たな知識・情報の発信を積極的に行っています。

ゲストハウス 主として、本学の学術交流協定に基づいて来訪し、滞在する外国人研究者やその家族が宿泊できる施設です。バストイレ、冷暖房、家具等を完備した世帯用3室、単身用27室、本学教員との交流室、談話室も備えた5丁目の建物で、国際学術交流の増進がいつ期待されます。



文化交流センター

大阪の中心・梅田の大阪駅前第2ビルにあります。高まる生涯学習の要請に応え、知的情報を提供し、学術研究の成果を社会に還元することを目的に開設されました。文化交流センター講座が開講されるほかに、学会など、国際的な学術交流が行われています。

平成15年4月 独立研究科

「創造都市研究科」を開設 (文部科学省設置認可申請中)

この創造都市研究科は、社会人を主たる対象に高度専門職業人の養成を主眼としたもので、3つの専攻を設けます。平成15年4月開設予定で、現在文部科学省に設置認可申請中です。社会の第一線で働く人々が、この研究科で専門業務にかかわる高度な知識体系を修得するとともに、問題解決型の知識創造を行う能力を獲得し、そして関西を中心とする都市圏の経済・社会の発展を担う指導的人材として活躍していただきたいと考えています。また、社会人の方を主な対象にしていることから、通学の利便性を考えて、授業は大阪駅前第2ビルにサテライト教室を設けて行います。各専攻の概要は以下のとおりですが、詳しくは市立大学のホームページをご覧ください。なお、募集要項は12月にご配付予定です。



各専攻の概要

- 1 都市ビジネス専攻 入学定員45名/標準修業年数2年
21世紀の経済活動のイノベーションを推進する指導的人材を養成する。
- 2 都市政策専攻 入学定員45名/標準修業年数2年
21世紀の都市社会を支える経済・行政・社会の分野における指導的人材を養成する。
- 3 都市情報学専攻 入学定員30名/標準修業年数2年
21世紀の都市生活に必要な情報基盤の構築や、情報ビジネス等の創造を担う指導的人材を養成する。